

平成31年度(令和元年度)  
全国学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

# 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

## (1)調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## (2)調査の対象学年

- 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
(平成31年4月18日に調査を実施した学校・児童数 大阪府990校 73,333人)
- 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年  
( 同学校・生徒数 大阪府472校 68,618人)

## (3)調査の内容

- ①教科に関する調査 ・小学校等 【国語・算数】 ・中学校等 【国語・数学・英語(今年度、新たに追加)】
- ②質問紙調査 ・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査

## (4)今年度調査の特徴

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、平成31年度より従来のA問題(知識・技能)とB問題(活用等)という区分を見直し、知識・活用を一体化に問う調査問題に変更

## (5)調査の方式 悉皆調査

## (6)調査を実施した忠岡町の学校・児童生徒数

### ○実施校数

- ・小学校:2校
- ・中学校:1校

### ○実施児童生徒数

- ・小学校:145 人
- ・中学校:165 人

## 公表に関する配慮事項について

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の学力の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

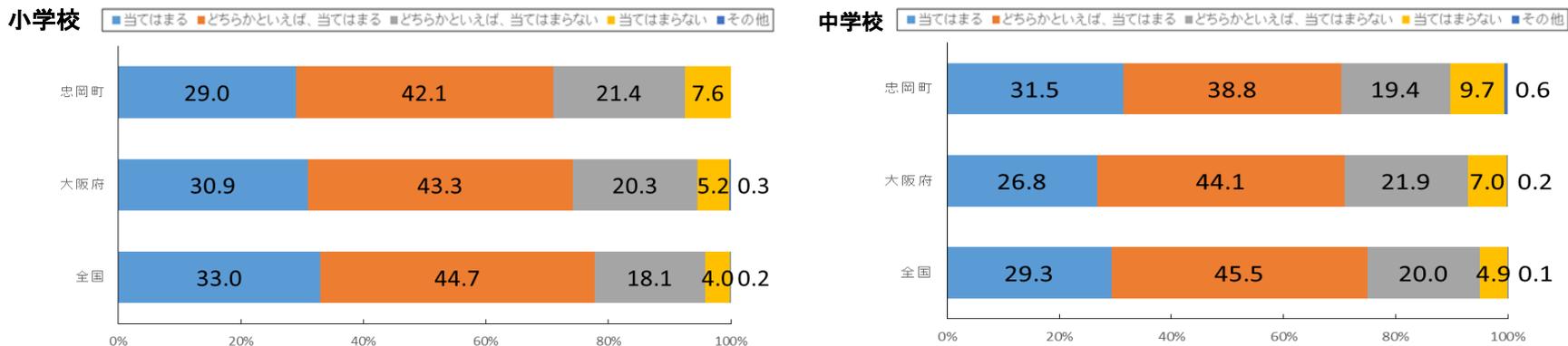
## 全体の概要について I (学力に関する調査より)

- 【小学校国語】目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことや、漢字の知識理解(特に同音異義語)に課題。
- 【小学校算数】示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することや、示された計算の仕方を解釈し成り立つ性質を記述することに課題。
- 【中学校国語】話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えを書くことや伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに課題。
- 【中学校数学】事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することや、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題。
- 【中学校英語】聞いて把握した内容について、適切に応じることや、書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることに課題。

# 全体の概要についてⅡ (学習状況に関する調査より) ～忠岡町H31年度の重点取り組みにかかる概要～

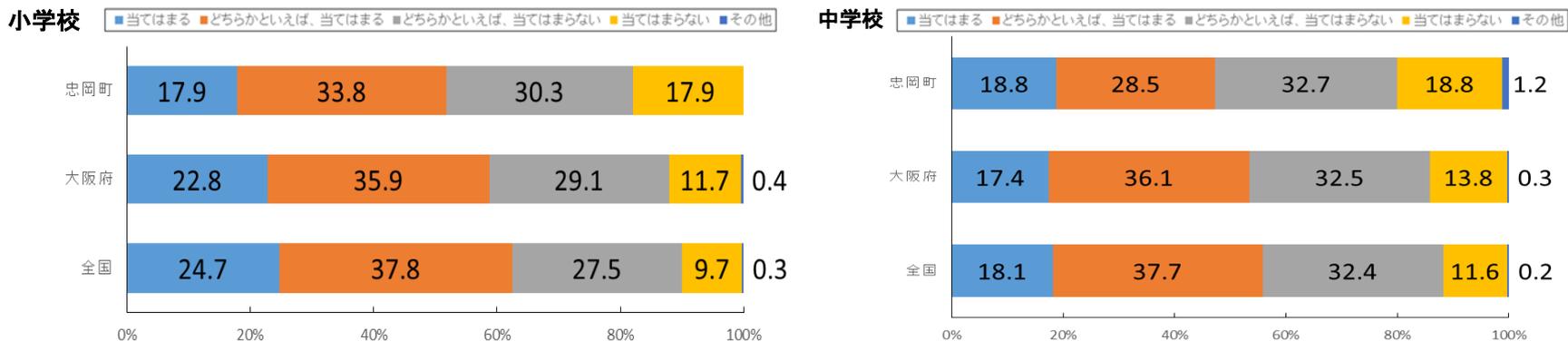
## ①【自ら考え取り組む子を育てる】「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

肯定的評価「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」は小学校、中学校ともに約3割であり、全国・大阪府に比べ割合が高く、課題である。



## ②【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」

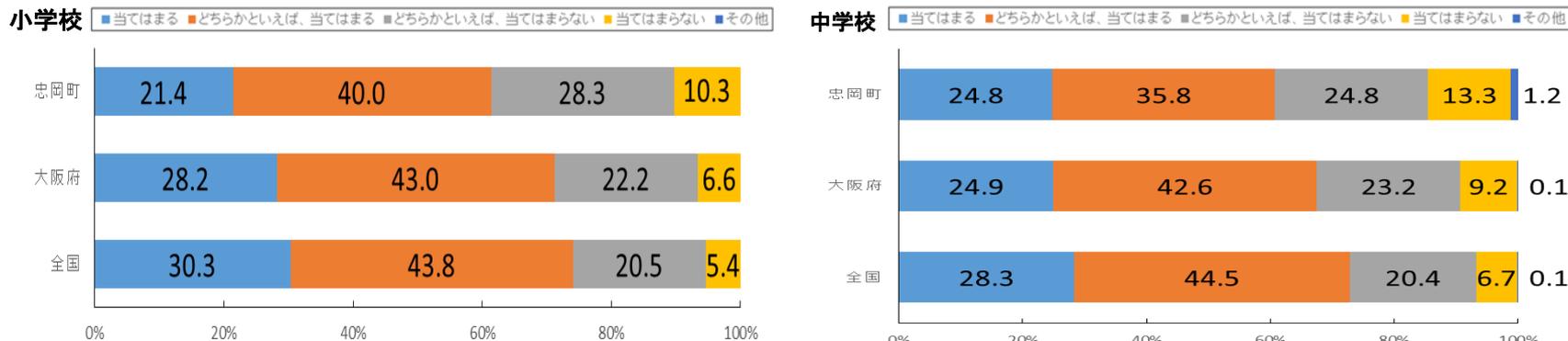
肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」は、小学校・中学校ともに全国・大阪府と比べると低く課題である。



# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H31年度の重点取り組みにかかる概要～

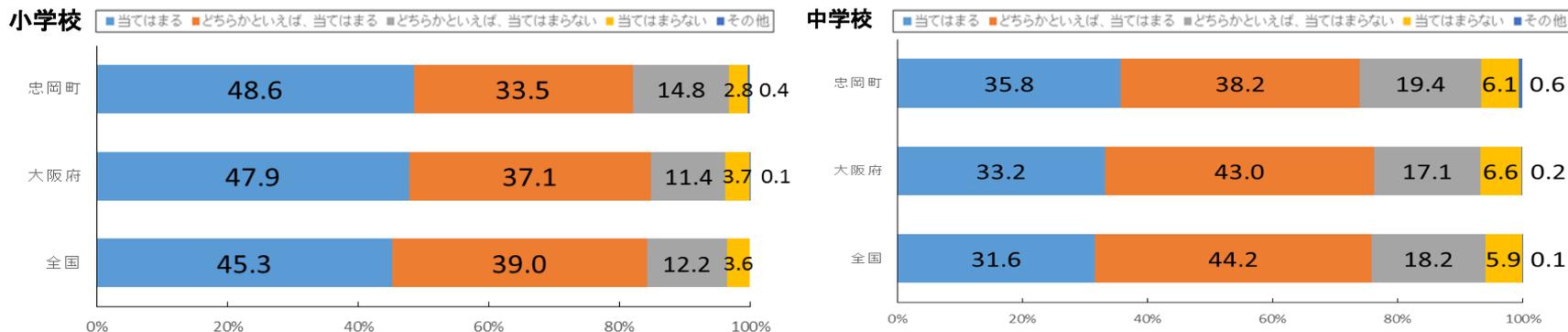
## ③【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」は、小学校・中学校ともに約6割で全国・大阪府と比べると低く、課題である。



## ④【授業内容がわかる子どもをふやす】「算数(数学)・国語の授業の内容はよくわかりますか」・・・算数(数学)と国語の合算データ

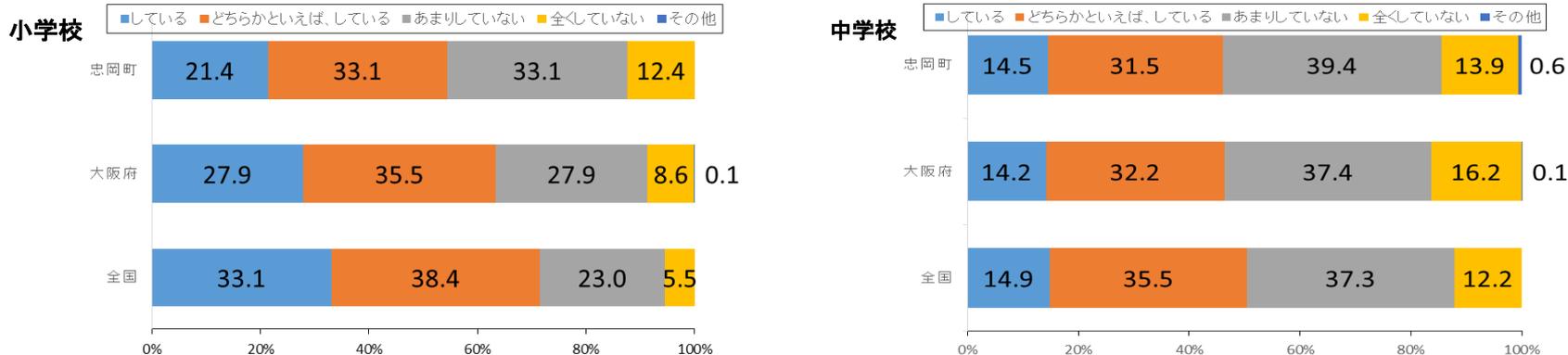
肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」は、小学校では8割強、中学校では約7割5分と高い割合であるが、全国・大阪府に比べるとやや低く、課題である。



# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H31年度の重点取り組みにかかる概要～

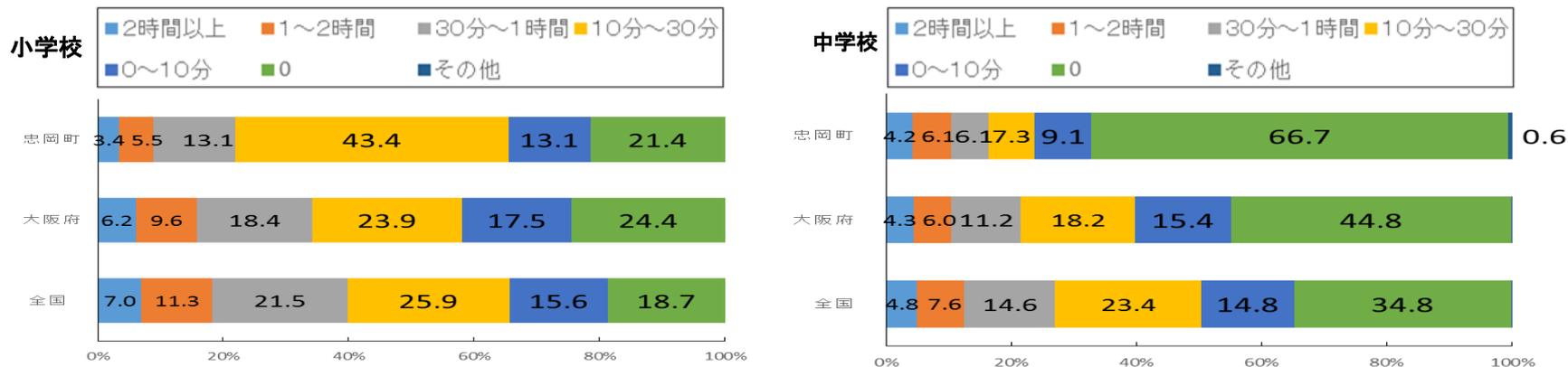
## ⑤【家で計画的に学習する子どもたちを育てる】「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

肯定的評価「している」・「どちらかといえば、している」は、小学校において、全国・大阪府と比べて大きな差があり、課題である。



## ⑥【読書に親しむ子どもたちを育てる】「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」

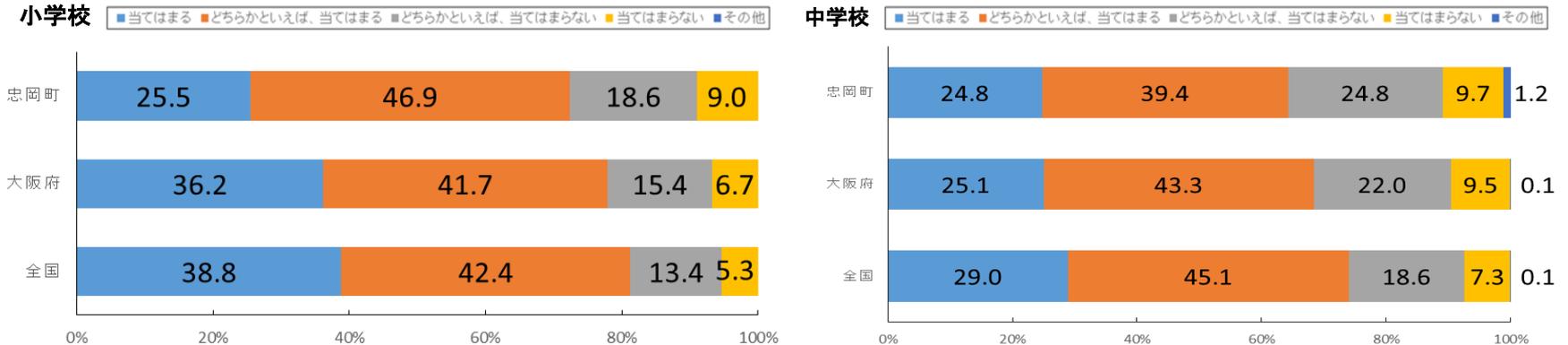
「0分」「0～10分」をあわせた割合は、小学校は約3割5分で大阪府より低く、改善傾向だが、中学校は7割5分以上で全国・大阪府と大きな差があり、課題である。



# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H31年度の重点取り組みにかかる概要～

## ⑦【自分にはよいところがあると思う子どもたちを育てる】「自分には、よいところがあると思いますか」

否定的評価「当てはまらない」・「どちらかといえば、当てはまらない」と答えた児童生徒が、小学校では約2割8分、中学校では約3割5分おり、自尊感情を高めていくことが課題である。



## 忠岡町における学力・学習状況に関する施策

- 忠岡町授業改善推進事業(全小・中学校)・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学ぶ楽しさを育む推進事業(小1・2)・・・小学校1・2年生児童に落ち着いた学習環境の提供と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っています。
- 学力向上サポーター配置事業(小3・4)・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 小学校読書活動推進事業(全小学校)・・・小学校に司書を配置し子どもたちの興味関心を高め、本に接する機会を増やしています。
- 学力検査CRTⅡ(小4)・・・児童の基礎・基本における学習のつまづきの把握と効果的な指導につなげています。
- 小・中学校児童生徒学校生活意識調査〈Hyper-QU〉(小5・中2)・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・教員の授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 忠岡町授業改善に向けての連絡会・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の9年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。
- 忠岡町英語教育推進事業・・・小・中学校教員の英語指導力を高めるために、研修等を実施しています。

忠岡町立忠岡小学校

## 小学校 国語 1文を接続語を使って2文に分けて書き直す。

### 考えられる課題

●言語能力、語彙力の不足。

正答率 30.0%  
(大阪 40.1%、全国 47.8%)  
無解答率 36.0%  
(大阪 13.0%、全国 11.3%)

- ・全国との正答率の差が大きい上に、正答率が一番低い。
- ・無解答率が高い。

### これからの指導の方向性

☆朝学習、自主学習を通して、意味調べや漢字調べを進める。

☆作文指導等を通して、接続詞等の表現について学ぶ活動を行う。

### 課題が見られる設問

1 四(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の□の文を二つの文に分けて書き直すことになりました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましよう。なお、読点も字数にふくみます。

## 小学校 国語 インタビューした内容について、心に残ったことを書く。

### 考えられる課題

●短文の読み取りはできるが、読み取ったことをまとめて書く力。

正答率 38.0%  
(大阪 62.4%、全国 68.2%)  
無解答率 48.0%  
(大阪 16.9%、全国 14.2%)

- ・全国との正答率の差が一番大きい。
- ・無解答率が一番高い。

### これからの指導の方向性

- ☆段落を1文にまとめる活動を積極的に行っていく。
- ☆自分の考えをまとめて書いたり、話したりする機会を増やしていく。

### 課題が見られる設問

3 三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。特  
【インタビューの様子】のイに入る内容を、条件に合わせて書きましよう。

小学校 算数 面積の求め方を、数や演算の表す内容に着目して書く。

### 課題が見られる設問

1(3) 【ちひろさんの求めかた】の中の「 $20-4$ 」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※必要ならば、図を使って考えてもかまいません。

### 考えられる課題

●説明や自分の考えを順序立てて最後まで書く力。

正答率 34.0%  
(大阪 43.0%、全国 43.9%)  
無解答率 20.0%  
(大阪 7.1%、全国 6.7%)

- ・無解答率が高い。
- ・正答率が低い。

### これからの指導の方向性

☆自分の考えを順序立てて、最後まで分かるように書く練習を行う。

☆ペアやグループの交流を通して、自分の考えが相手に伝わっているかを確認する時間を作るようにする。

小学校 算数 棒グラフを比較して、水の使用量が何倍かを求める。

### 課題が見られる設問

2(2)グラフ1の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の何倍ですか。  
答えを書きましょう。

### 考えられる課題

●グラフを読み取る力。

正答率 62.0%  
(大阪 79.1%、全国 78.6%)  
無解答率 6.0%  
(大阪 1.0%、全国 1.0%)

・全国との正答率の差が大きく、大阪府との差が一番大きい。

### これからの指導の方向性

☆グラフを扱う単元で練習問題を行うだけでなく、グラフの読み取りについての問題をくりかえし練習していく。

☆授業や調べ学習等の発表でグラフを活用する内容を取り入れていく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(18)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。  
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教えている時間も含まれます。)

### 考えられる課題

- 宿題以外の学習の不足

1時間以上(本校の6年生の目安)  
しているが 50.0%  
(大阪 58.3%、全国 66.1%)

### これからの指導の方向性

☆宿題を全くしていない児童は多くないことから、自主学習について再度、取り組み方を具体的に示したり、意識づけをしたりして進めていく。

☆自主学習を低学年から取り組み、自主学習を習慣づけしていけるようにする。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(19) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。  
(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

### 考えられる課題

● 読書を全くしない児童が多い。

全くしないが 32.0%  
(大阪 24.4%、全国 18.7%)

### これからの指導の方向性

☆宿題等でも読書を取り組ませ、家庭でも習慣づけるようにする。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(56) 言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた
- 3 書く問題は全く解答しなかった

### 考えられる課題

- 基礎・基本の定着

「努力した」が 72.0%  
(大阪 79.8%、全国 80.7%)  
「全く解答しなかった」が 0.0%  
(大阪 1.6%、全国 1.3%)

### これからの指導の方向性

☆72%が「努力した」と答え、「全く解答しなかった」が0%となっているが、国語も算数も、「努力した」が、「無解答」が多いという現状である。答えようという意欲はあり、努力はするが、実際に解答できない児童が多いと推察される。「問題を読み取る」「自分の考えを書く」ための基本的な知識・技能をつけられるように、くり返し練習問題に取り組んだり、宿題で復習を取り入れていく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(29)学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか。

### 考えられる課題

●子どもの意識と設問の理解のずれ

肯定的な意見が 56.0%  
(大阪 71.2%、全国 74.1%)

### これからの指導の方向性

☆同じ内容で忠岡町で行ったアンケートでの肯定的な意見は86.8%でずれがある。授業の話し合いの時に、構造化板書シートの「話し合う」を掲示することで、「話し合い活動」を行っていることや、「考えを深めたり、広げたりすることができた」ということを常に意識して子どもに伝えていく。

## 児童アンケート

### 成果が見られる設問

(5) 自分にはよいところがあると思いますか。

### 考えられる成果

● 自己肯定感を持つ児童の増加

肯定的な意見が 78.0%  
(大阪 77.9%、全国 81.2%)

### これからの指導の方向性

☆「学校のきまりを守る」「人の役に立つ人間になりたい」と同様、肯定的な意見が多い。

☆ 自己肯定感が高くなってきている傾向があると思われる。今後も、一人ひとりを認めていく、ほめていくといった活動を継続していく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(27)5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。

### 考えられる課題

●ICTの活用

月1回未満が 70.0%  
(大阪 35.5%、全国 30.9%)

### これからの指導の方向性

☆教員、児童ともに、積極的にタブレット等のICTを活用することを推進していく。

忠岡町立東忠岡小学校

小学校 国語 公衆電話について調べたことを、【報告する文章】の中の下線部ウを、漢字を使って書き直す。

## 考えられる課題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと
- 同音異義語に気をつけて正しい漢字を書くこと

正答率 23.2%  
無解答率 1.1%

正答率が、全問中最も低い。

## これからの指導の方向性

☆間違っている漢字を正しく書き直すなどの機会を、学習の中に数多く取り入れるように心がけて指導を進める。

☆漢字の意味を捉え、熟語や文の中で正確に使ったり、同音異義語に気をつけて正しい漢字を書いたりすることを意識づける指導を進める。

## 課題が見られる設問

1 四(1) 高橋さんは、習っている漢字がひらかなになっていたりところがあることに気づき、書き直すことにしました。報告する文章【の下線部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。  
(省略) ウ  
公衆電話についてかんしんをもってもらいた  
いと思います。

小学校 国語 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の [ ] の一文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す。

## 考えられる課題

- 文と文の意味のつながりを考えながら、適切な接続語を使って内容を分けて書く。
- 二文に書き分ける時に、適切な主語や文末の表現を書き加えて書く。

正答率 34.7%  
無解答率 8.4%

正答率が、全国平均を10ポイント以上下回っている。

## これからの指導の方向性

- ☆内容を相手に的確に伝えるために、主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係などに着目しながら、文の構成を整えて書くことに留意し、指導を行う。
- ☆文と文のつながりに注意し、必要に応じて適切な接続語を選び、文を書くことを大切にする指導を進める。
- ☆二文に分けて書く手順を示したり、接続語を使った文章を書く機会を設ける指導を心がける。

## 課題が見られる設問

1 四(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、**【報告する文章】**の [ ] の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましよう。なお、読点も字数にふくみます。

公衆電話を必要とときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設定されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

小学校 算数 洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。

### 成果が見られる設問

2(4) さらに、かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのかが気になり、洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考えました。

【かいとさんが考えた式】

$$6 + 0.5 \times 2 = \square$$

【かいとさんが考えた式】の、㊦に入る数を書きましょう。

### 考えられる成果

●加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。

正答率	87.4%
無解答率	1.1%

正答率が、全国平均を25ポイント以上上回っている。

### これからの指導の方向性

☆四則混合の計算にも学習の中で数多く取り組むことで、左から順にではなく、演算記号により計算の順序が決まることを理解できているので、これを継続していく。

☆計算の順序についてのきまりを、具体的な場面と関連付けながら理解できるような指導を心がける。

小学校 算数 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。

### 課題が見られる設問

1(3)

(省略)

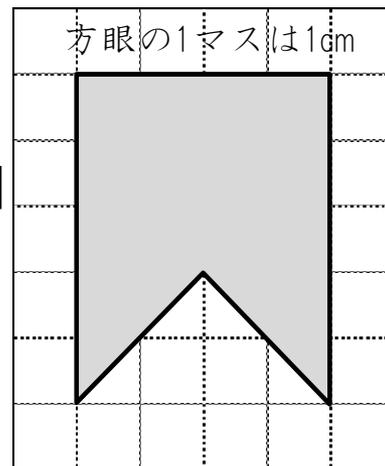
【ちひろさんの図1の面積の求め方】

$$5 \times 4 = 20$$

$$4 \times 2 \div 2 = 4$$

$$20 - 4 = 16$$

答え  $16\text{cm}^2$



【ちひろさんの求め方】の中の

「 $20 - 4$ 」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

### 考えられる課題

●示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること

正答率 32.6%

無解答率 6.3%

正答率が、全問中一番低く、全国より10ポイント以上低い。

### これからの指導の方向性

☆図形の面積の求め方と式を関連付けることで、式の意味を明らかにする活動を数多く取り入れる。

☆学び合いの場において、自ら考えた式の意味を児童同士で再度確認したり、ノートに記述して整理したりする活動を授業の中で適宜取り入れていく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(18) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。)

### 考えられる課題

● 家庭学習に取り組めていない児童が見られる。

1日あたりの勉強時間が全くしない	5.3%
1時間未満	34.7%

### これからの指導の方向性

☆「全くしない」と回答した児童がいたので、引き続きその児童への学習支援を続けるとともに、その児童の保護者へ家庭学習の習慣づけを担任から呼びかけていく。

☆1時間未満の回答率がほぼ全国平均と同じであることから、本校で継続して取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」「家庭学習の手引き」の取り組みを持続させ、児童への指導、保護者への啓発を進め、主体的・計画的に学習する習慣づけを進めていく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(19) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

### 考えられる課題

- 30分以上読書する児童が少ない。
- 読書の習慣が身につけていない。

1日あたりの読書時間が	
全くしない	15.8%
10分より少ない	7.4%
10分～30分	56.8%

### これからの指導の方向性

☆本校が取り組んでいる「目指せ！読書100冊」や「朝読書」の取り組みを今後も継続し、読書に対する意欲を高めていく。それとともに、ビブリオバトルなどのように、より読書に関心を持って取り組めるような指導・取り組みを行う。

☆本校が取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」に今後も継続して取り組み、より家庭での読書に対する意識を児童・保護者ともに高められるよう、啓発を進めていく。

## 児童アンケート

### 成果が見られる設問

(56)言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
- 3 書く問題は全く解答しなかった

### 考えられる成果

●多様な考え方で、問題を解こうとする力

1の「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」が 85.3%  
3の「書く問題は全く回答しなかった」が 0%

### これからの指導の方向性

☆「力だめしテスト」などにおいて、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題に取り組む機会を増やす。

☆授業やテストなどの様々な場面において、これまで同様取り組む過程や姿勢を大切に評価していくことで、最後まで解こうとする意欲を高めていく。

☆本校が取り組んでいる「授業の構造化」を継続し、めあてや見通しを持って主体的に授業に取り組み、学び合いにより他の児童と比較し、学習を深めることで、自らの言葉で説明する力を養っていく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(小29)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

### 考えられる課題

- 話し合い活動に積極的に取り組もうとする意欲を持たせる。
- 自分の考えを深め、広げられた実感を持たせる。

- 1 「当てはまる」が 22.1%
- 2 「どちらかと言えば当てはまる」が 42.1%

### これからの指導の方向性

☆本校が取り組んでいる「授業の構造化」を継続し、めあてや見通しを持って授業に取り組み、ふり返りにより次の学習へのつながりを持たせることで、主体的に話し合い活動に取り組もうとする意欲を高めていく。

☆学び合いにより他の児童と比較し自らの意見を深める機会を持つとともに、互いに認め合い、協力していく姿勢を育てる指導を進めていく。

☆授業での話し合う活動において、取り組む過程や姿勢を大切に評価していくことで、積極的に話し合い活動に参加し、自らの考えを深めたり、広げたりしようとする意欲を高めていく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(2)毎日、同じぐらいの時刻に寝て  
いますか。

### 考えられる課題

- 規則正しい生活習慣の定着
- 生活リズムの乱れ

- 1 「当てはまる」が 30.5%
- 2 「どちらかと言えば当てはまる」が  
36.8%

### これからの指導の方向性

☆本校が取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」の取り組みにより、改善傾向はみられるが、まだ全国平均より10%以上下回っていることから、今後も継続して取り組み、児童や保護者に規則正しい生活習慣が意識づけられるようにする。

☆生活リズムを確立することの大切さを、学校通信や学年通信、学級懇談会などを通して発信するなど、保護者への啓発活動を積極的に行っていく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(5) 自分には、よいところがあると思いますか。

### 考えられる課題

● 自分の存在価値を前向きに受け止められる力が低いことで、課題に立ち向かう意欲が低い。

- 1 「当てはまる」が 26.3%
- 2 「どちらかと言えば当てはまる」が 43.2%

### これからの指導の方向性

☆ 学習や生活、行事などにおいて、児童が到達感を実感できるような適切な課題を設定し、それに向けての達成や努力に対して積極的に「ほめる」指導を進めていく。

☆ 児童の自己肯定感を高めていくために、児童の存在自体を「ほめる」ことで、失敗よりも成功に向けて前向きに取り組める子、自らの課題に敢然と立ち向かえる子の育成を目指す。

忠岡町立忠岡中学校

中学校 国語 「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く。

## 考えられる課題

●封筒に宛名書きをする問題である。年賀状をだす習慣の衰退やスマホ等の普及により、経験不足は否めないが、生活に直結した問題なので、関心を持たせて取り組むべき課題である。

正答率 37.0%  
無解答率 15.4%

正答率の全国平均との差が最も大きい

## これからの指導の方向性

☆封筒の宛名や手紙の書き方を含め生活に直接関わる事柄の指導を工夫する。また自分の現状や気持ちを正しい文章で相手側に伝える事の大切さも指導していく。

## 課題が見られる設問

1 四 あなたは「声の広場」への投稿を封筒で郵送しようとしています。全国中学生新聞」に示されている投稿先の名前と住所を、次の条件1と条件2に従って、楷書で丁寧に書きなさい。

条件1 封筒の書き方に注意して縦書きで書くこと

条件2 投稿先は団体なので、「様」ではなく「御中」と書くこと

中学校 国語 広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える。

### 考えられる課題

- 問を読み、指示されていることを理解する力
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く力

正答率 59.3%  
無解答率 21.6%

無回答率の全国平均との差が最も大きい

### これからの指導の方向性

- ☆まず、初めに何について問われているかを的確に理解するために、問題文の読解力がつくような練習を繰り返し行い指導する。
- ☆記述式の問題に対する苦手意識を克服させるために、書き方の例を示したり、短文から、徐々に長文を書くような指導を計画する。

### 課題が見られる設問

3 二 青木さんは、意見文の下書き【の線部  
魅力】の具体例に自分の体験を挙げるだけで  
は  
足りないと考え、 広報誌の一部【にある情報  
を用いて②のところ】に文章を書き加えること  
にしました。あなたなら、どのような文章を  
書き加えますか。次の書き出しに続けて 広報  
誌の一部【を見ていない人にもわかるように書  
きなさい。

**中学校 数学** 「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切でない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する

### 課題が見られる設問

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

### 考えられる課題

- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

正答率 31.3 %  
無解答率 42.9 %

全国は無回答率の値と比較すると、倍以上の値である。

### これからの指導の方向性

- ☆長い文章題にも慣れる事、また諦めずに出題の意図を読み取れる力を育てる。
- ☆グラフと資料を関連づけて、具体的な事象を読み取る力を育てる。

**中学校 数学** aとbが正の整数の時、四則計算の結果が正の整数になるとは、限らないものを選ぶ

### 課題が見られる設問

aとbが正の整数のとき、下のアからエまでの計算のうち、計算の結果が正の整数にならないことがあるものはどれですか。正しいものをすべて選びなさい。

ア  $a + b$

イ  $a - b$

ウ  $a \times b$

エ  $a \div b$

### 考えられる課題

●数の集合と四則計算の可能性について理解する力。

正答率 43.6 %  
無解答率 0.0 %

全国の正答率の値と比較すると、差が一番大きい。

### これからの指導の方向性

☆基本的な数学的用語の正しい理解。

☆問題文が、何を問うているのか正しく理解する必要性から、習熟度別指導の個に応じた丁寧な指導。

中学校 英語 家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する。

### 課題が見られる設問

- ①夕食の後、風呂にはいる。
- ②夕食の後、勉強する
- ③お風呂の後、夕食をとる
- ④お風呂の後、勉強する

上記の行動が絵で表されており、家での会話を聞いて、正しい絵を選択するヒアリングの力を問う問題である。

正答率 40.9%  
無解答率 1.2%

全国の正答率との差が一番大きい。

### 考えられる課題

- 日常的な話題について情報を正確に聞き取る力。

### これからの指導の方向性

☆基本単語の習得の徹底、また時系列を表す英単語の習得と正しい時系列を聞き取る力をつける。

☆類似した内容のリスニングテストの反復練習。

**中学校 英語** 食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く。

### 課題が見られる設問

英語の授業で、次のような資料が配られました。  
これを読んで、問いかけに対してのあなたの考えを簡潔に英語で書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90000000 people in 83 countries. ~ We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

正答率 3.0%  
無解答率 53.0%

無回答率が、高い。

### 考えられる課題

- 書かれた内容に対して自分の考えを示す事ができるように、話の内容や書き手の意見などを捉える事ができる。

### これからの指導の方向性

- ☆書かれている英文を正しく理解する力を反復練習でつける。
- ☆長文読解のために接続詞等の英単語を習得し、その後の英文に着目する。
- ☆無回答率を下げるために簡単な英単語を使って、英作文をすることに慣れる。

## 生徒アンケート

### 成果が見られる設問

(18) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。  
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。)

「3時間以上、2時間以上3時間より少ない」の合計が38.8%

### 考えられる成果

● 学習塾や家庭教師の時間を含むものの2時間以上学校の授業時間以外に勉強をすると答えた生徒の割合が全国平均より高いのは、町教委より取り組んでもらっている家庭学習週間にそって、各教科より宿題を意図的に出す取り組みの成果と考える。

### これからの指導の方向性

☆ 少しずつではあるが、取り組みの成果が出てきている。さらに1時間より少ない生徒の割合の底上げを目標に取り組みの推進を図りたい。

## 生徒アンケート

### 課題が見られる設問

(19) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。  
(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

「2時間以上」・「1時間以上、2時間より少ない」の合計が10.3%で全国平均より若干低い。全くしない割合が66.7%で全国平均と比較してかなり高い。

### 考えられる課題

● 1時間以上読書をする生徒の割合が全国平均より低い事や、読書を全くしない生徒の割合が全国平均と比較してかなり高い読書離れは、大きな課題である。この事により各教科において、長文の問題に対しての読解力の低下から、無回答率の増加に繋がっていると考えられる。

### これからの指導の方向性

☆ 読書離れが、テストでの読解力の低下や日頃の人間関係のコミュニケーション不足に影響を与えている可能性がある事を生徒に伝え、少しずつでも読書の魅力を伝え読む楽しさをわかってもらえるような取り組みを進めていく。

## 生徒アンケート

### 課題が見られる設問

(32)生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

当てはまる・どちらといえば当てはまる

60.6% 全国平均 72.8%

どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない

38.1% 全国平均 27.1%

### 考えられる課題

●話し合う活動で自分の考えを深めたり、広げたりできているという意識が低い。

### これからの指導の方向性

☆各教科で話し合い活動を取り入れるようにしているが、話し合いが活発になるような手順やテーマについて研究を進める。

## 生徒アンケート

### 課題が見られる設問

(53) 今回の数学の問題を通して、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた
- 3 書く問題は全く解答しなかった

選択肢1の割合は全国平均より、12.3%低い。

選択肢2の割合は全国平均より、4.1%高い。

選択肢3の割合は全国平均より、7.3%高い。

### 考えられる課題

- 記述式の問題について途中であきらめたり、全く解答しない割合が高い。

### これからの指導の方向性

☆授業等の中で、記述式の問題に取り組みせたり、定期テストに記述式の問題を出題したりしていく。

☆各教科の中で、「なぜ？」という意識を常に持たせ、しっかり理由を考えさせたりそれを発表したり、記述したりする指導を充実させる。

## 生徒アンケート

### 課題が見られる設問

(48) 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。

- 1・全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- 2・書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた
- 3・書く問題は全く解答しなかった。

選択肢1の割合は全国平均より、17.4%低い。

選択肢2の割合は全国平均より、12.5%高い。

選択肢3の割合は全国平均より、4.6%高い。

### 考えられる課題

- 文章で答える問題に対して、無回答や途中で諦めたりする生徒が全国平均より高い。

### これからの指導の方向性

☆通常の授業の中でも、文章をまとめる作業や論理的に文章を組み立てる練習を繰り返す。また定期テストの問題にも必ず、ある程度の文章量で答える問題を出題する。

## 生徒アンケート

### 課題が見られる設問

(63) 1・2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。

- 1・当てはまる 2・どちらかといえば当てはまる  
3・どちらかといえば当てはまらない 4・当てはまらない

選択肢1の割合は全国平均より、27.3%低い。

選択肢3の割合は全国平均より、16.7%高い。

選択肢4の割合は全国平均より、9.2%高い。

### 考えられる課題

- 簡単な英語での質問に対して、英単語や短い文章を英会話で答えるにとどまっている。

### これからの指導の方向性

☆日頃の授業の中で、少し長めの自己紹介や感想を英作文で書けるように繰り返し練習すること。

☆英作文が書けるようになったら、今度はペア学習のなかでスピーキングの練習を行い、生徒自身に自信をつけさせてから、クラス全体へのスピーチ・プレゼンに繋げていきたい。